

検査項目	チェックのポイント	欄	検査項目	チェックのポイント	欄
1. 流入管きよ及び放流管きよの勾配	汚物や汚水の停滞がないか。		13. ポンプ設備(流入ポンプ及び放流ポンプ)設置、稼働状況	ポンプますに変形や破損はないか。	
2. 放流先の状況	放流口と放流水路の水位差が適切に保たれ、逆流のおそれはないか。			ポンプますに漏水のおそれはないか。	
3. 誤接合等の有無	生活排水が全て接続されているか。			ポンプが2台以上設置されているか。	
	雨水や工場排水等が流入していないか。			設計どおりの能力のポンプが設置されているか。	
4. 弁の位置及び種類	起点、屈曲点、合流点及び一定間隔ごとに適切な弁が設置されているか。			ポンプの固定が十分に行われているか。	
5. 流入管きよ、放流管きよ及び空気配管の変形、破損のおそれ	管の露出等により変形、破損のおそれはないか。			ポンプの取りはずしが可能か。	
6. かさ上げの状況	バルブの操作などの維持管理を容易に行うことはできるか		14. ブロワーの設置、稼働状況	防振対策がなされているか。	
7. 浄化槽本体の上部及びその周辺の状況	保守点検、清掃を行ないにくい場所に設置されていないか。			固定が十分行なわれているか。	
	保守点検、清掃の支障となるものが置かれていないか。			アースはなされているか。	
	コンクリートスラブが打たれているか。			漏電のおそれはないか。	
8. 漏水の有無	漏水が生じていないか。		※特殊工事 大きな荷重がかかる場合の工事	建築物等の基礎の終点から45度の範囲に浄化槽を設置していないか。	
9. 浄化槽本体の水平の状況	水平が保たれているか。			設置場所が建築物の荷重がかかる場合に、擁壁を設けているか。	
10. 接触材等の変形、破損、固定の状況	嫌気ろ床槽のろ材及び接触ばっ気槽の接触材に変形や破損はないか。		上記のとおり確認したことを証明します。  年 月 日  担当浄化槽設備士氏名 印  (浄化槽設備士免状の交付番号 )		
	しっかり固定されているか。				
11. ばっ気装置、逆洗装置及び汚泥移送装置の変形、破損、固定及び稼働の状況	各装置に変形や破損はないか。				
	しっかりと固定されているか。				
	空気の出方や水流に片寄りはないか。				
12. 消毒設備の変形、破損、固定の状況	消毒設備に変形や破損はないか。				
	しっかりと固定されているか。				
	薬剤筒は傾いていないか。				